発行：日立製作所労働組合　政治部
〒136-0071 東京都江東区亀戸9-3-13
編集：日立グループ議員団会議
2003年5月　No.33

日立グループ 議員団だより

日立グループ議員団活動方針（議員団の心得５原則）

1. 日立グループ労組出身議員であることの自覚を常に堅持すること。
2. 政治活動は、日立グループ連合、日立労組の運動方針を基本とすること。
3. 電機連合をはじめ、支援組織との連携強化に努力すること。
4. 地域活動は住民の心を的確に掴み活発に展開すること。
5. 常に研鑽に励み、清潔な姿勢を貫き、住民の信頼を高めるようにつとめること。

「個人情報保護関連法案」「有事関連法案」が衆院通過

国民の立場に立ち民主党がしっかり対応する

日立グループ議員団会長
衆議院議員
大畠　章宏
（日立支部）

国政たより

４月の統一地方選挙におきましては、同志の皆さんのご奮闘に心より敬意を表します。

日本は小泉内閣の経済失政により、ますます閉塞感の漂う混沌とした状況に至っています。みんなで力を合わせ、議員団一致団結して、国民のみなさんのため、地域経済活性化等の問題に全力で取組んでまいりましょう。

「個人情報保護関連法案」には改正案含め厳しい対応が必要

さて、５月６日、個人情報保護関連法案が、５月15日には、いわゆる有事関連法案が衆議院で可決されましたが、両法案とも今国会で最重要法案と位置付けられていました。

民主党は、「個人情報保護関連法案」について、４野党で対案を提出していました。政府案には、民主党など４野党対案にある「センシティブ情報の取扱い」や「自己情報コントロール権」についての規定が無く、また行政機関の個人情報活用についても裁量幅が大きく、本人の知らない間に個人情報流用の恐れがある点等から、民主党は反対の立場をとりました。４野党案は賛成少数で否決され、政府案は可決されました。国民の重要な個人情報について、情報の自己コントロール権も無いようなものでは、結局は、個人情報を守ると言いながら、一部の政治家や政府にとってだけの、国民を管理しやすい世の中を造るための法案と言えます。今後の参議院での審議や、成立した場合後の運用などをしっかりと見極め、国民の権利を侵害することがないよう、改正案提出を踏まえ厳しく対応してまいります。

「有事関連法案」には民主党が修正合意する

「有事関連法案」については、民主党として法案そのものは、これまでの政策等における必要性について一致していました。内容に関しては党内全議員で何度も活発に議論をし、「基本法」と「政府案修正案」の２本の法案を作りました。法案の必要性については、党として一致していると書きましたが、民主党の主張する内容を、与党案にどのくらい入れられるか如何では、与党修正案でも賛成できる余地はありました。そこで、全議員懇談会において議論を尽くし、執行部一任を決め、幹事長会談、党首会談が行われ、民主党の主張する諸重要事項に関しては、法案修正を行う事や、与党３党と民主党の覚書、法案の付帯決議等で、今後の協議の場で解決する事とし、国民保護法制の一年以内成立等を与党側に約束させました。両法案とも国民の立場に立ち、主権者たる国民のみなさんの立場に立ってしっかりと対応してまいります。

幹事長の主張

日立グループ議員団幹事長
横浜市議会議員
松本　敏（ソフト支部）

このたび施行されました第15回統一地方選挙では、日立グループ議員団の候補者は全員当選させて頂くことができました。いずれの地方自治体においても議会や議員を取り巻く環境は非常に厳しいものがありました。

このような中で、私どもの選挙活動にご協力・ご支援頂きました皆様には、心から感謝を申し上げますと共に、変わらぬご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

また、私を含めて選挙戦を戦った議員は電機連合および日立グループの代表という誇りと責任を自覚しながら精一杯頑張りました。そして、日頃の議会活動や地域活動の大切さを改めて実感しました。私たちは、日曜日にわざわざ投票所に行って自分の名前を書いて下さった有権者の皆様の気持ち、あるいはその投票行動に結び付けて頂いた皆様の気持ちをこれからの様々な活動のエネルギーにしていきたいと思います。

さて、地方議会の課題は財政、景気回復、安全な都市基盤整備、福祉、環境、スポーツ文化の振興など山積しています。財源確保は何より大切で、各自治体がそれぞれ独自の歳入増を図っていますが、一方で、市民からは行政改革および議会改革の一層の推進を望まれています。このことをあまり望まない市民もいますが、我国経済の拡大成長が期待できない現実を考えると、民も官も意識改革をして、一人ひとりの付加価値を高める新しいシステムが必要だと思います。スピードの速い時代の変化に即応する柔軟さが求められています。

統一地方選挙へのご支援に感謝

皆様の投票への気持ちを糧に精力的に活動していきます

地方議会の課題は山積、一人ひとりの付加価値を高める新しいシステムが必要

第15回 統一地方選挙

４月に行われた統一地方選挙において、日立グループ組織内候補者、公認・準公認とも、全員が当選を果たすことができました。皆さんのご支援ご協力に感謝いたします。

当選御礼

横浜市議会議員選挙
松本　敏（ソフト・現）
尾張旭市議会議員選挙
佐藤　信幸（旭・現）
熊谷市議会議員選挙
松本貢市郎（日立金属・新）
高崎市議会議員選挙
植原大二郎（高崎・現）
栃木市議会議員選挙
増山　利雄（H&L 栃木・現）
沼津市議会議員選挙
山崎　篤（AE 沼津・現）

日立市議会議員選挙
石野　正美（日立・現）
青木　俊一（日立・新）
西川　光世（日研・現）
渡部　源昭（大みか・現）
桧山　節男（H&L 多賀・現）
村田　悦雄（日立化成・現）
椎名　敦史（HEC・現）
二瓶　隆（日立電線・現）

引続きのご支援をよろしくお願いします

＜今後予定される地方選挙＞
6／8　市原市議会議員選挙
山本　義雄（ＡＥ千葉・現）
8月　秦野市議会議員選挙
山口　金光（神奈川・現）